工藝圖鑑
谷口香嶠著画
壹
v.1

ふるきをまなびて新しきをしれはくるひらなゆく
大和代のさまなり抄てあれとふはなうた
これまとおしなへてこゝろやしみをつへきなあら
はなは潮と称ふる書は絵草ふうるもの
もあまたといふしへのいおてもうにてつゝし絵
もとより長雅洞春の摸框といふものなる新
ちかき世はおよびぬひとへにひそかなりなる
なまてらのうちを物きんかいまつふるきて集き

ふるきをすてゝ新しきにはしくとひらけゆく
大御代のさかなり然もあれとこはまうた
これまとおしなへていやしみをつへきにあら
す文明と称ふるもの世にうるもしま
もあまたいふしなかいあてもすにてとりつし絵
も文あり衣服調度の標本といふものなるを
ちかの世紀およそぬんちくひそゐもりけん今
こまてらの事を撰せんにいまつふるき本標を

こゝより下はいすへあれとてきこえしわりなけは
工藝器譜よむものゝやひたる業をこゝら
こゝにつとへて一とまくこつきる志源の譜なるも
そこれはをとあらん人はこれによりてさとりゆく
らしなれと古代のまさる意匠のいやまれし
形も出ぬへしあれは此書のこゝろしふこゝや

明治廿とせあまり四とせの七月

渡邊弘人

函谷鉼粧飾
獸緞虎之圖

妙心寺蔵蓮花唐草古緞子袈裟之裂

古緞子三種

南都興福寺藏
義經古甲冑金
物及絃走革

山城國紀伊郡深草郷
寳塔寺藏經卷之表紙裂

堅地織
室町時代ノ物ト云

光手緞子及金襴　總テ天正頃ノ製品　泉州堺大安寺ノ蔵

好古家某氏藏硯箱之芦手描金

描金棗形茶器之紋
古金襴之紋
天正年間ノ製ト云

甲斐國身延山久遠寺藏滿州織古緞子之紋

蓮花
唐草之一種

支那明代國王之服胸部之紋
大佛妙法院之藏

好古家某氏々蔵
螺鈿描金源氏物語模様

妙心寺蔵唐繻珍袈裟之裂

仝寺蔵古金襴之裂

支那乾隆年製緞子之紋

甲斐國久遠寺蔵戸帳之裂満州緞子之紋

和泉國日根神社蔵
旗袋之裂

古色紙之紋
烏金浪 白銀

平安本國寺蔵
古金襴之裂
足利氏時代之物ト云

妙心寺藏古
金襴坐
具之
裂

高臺寺蒔繪之一種

青磁浮牡丹之一種

東大寺八幡宮
秦傑新鞋韈
韤紋

東寺
水瓶之紋

東寺寶庫藏
水瓶桶之蓋

東大寺八幡宮壺鐙紋

法隆寺蔵
袈裟筥之
蒔繪紋
古色紙
泥紋
法隆寺香匣蓋

白𦆷紋
纐纈紋
東大寺平舞
䖏用下襲

古金欄二種

東寺之蔵
遠山裂袈裟之一部

函谷鉾粧飾古刺繡四

東都芝天德寺内
雲州天隆公墓門
扉之浮彫紋

古代辛櫃螺鈿紋

青磁浮牡丹之一種

亟谷鉾雉飾水引之紋

江州阪本某寺之藏

赤地唐錦之紋樣

唐製古銅器之紋

明朝製綴織五鳥叙倫之図

江州阪本
某寺之蔵
支那古代織物
紋様龍之一種

元品ハ織物ニ非ズシテ
緞子ニ刺繍セシ物ナリト
或人ハ云ヘリ古色ノ為メ
不分明

支那製古鏡背面之紋様四龍四子之圖

山城國紀伊郡某寺之蔵

帰化明人陳某之
所持セシ物ト云フ

古刺繍二種

浪華好古家某氏之蔵

此虎像ハ古ヘ儀仗ニ用ヒシ虎像纛幡ナド裂ニ非ルカト或鑑識家ハ云ヘリ

現品ハ何レモ摩滅シテ不分明ノ所多シ想像ヲ以テ之ヲ補フ

高臺寺
豐公靈舍
内部壁之
粧飾

本能寺藏萬曆製磁器花瓶之摸様之一部

南帝御物胴丸肩上包之緞子紋

島津忠久之胴丸之杏葉模様

和泉國土丸古城跡土中ヨリ發掘ノ古鏡背面

本能寺藏萬暦磁花瓶摸様之一部

古代印度更紗紋之内抄出

好古家某氏之藏光琳之畫流水落葉之圖

日根神社蔵
古腹巻草摺
蝙蝠付之古
金襴

古薩摩窯陶器之摸様

明治廿四年七月五日印刷
同　年七月十日出版

版権所有

著画者　京都市上京区両替町通御池上ル
金吹町五十一番戸
谷口香嶠

印刷兼発行者　京都市下京区寺町通四條上ル
大文字町十八番戸
田中治兵衛

発売所
東京日本橋通壹丁目　大倉孫兵衛
同日本橋区葺屋町　東陽堂
大阪心斎橋筋一丁目　松村九兵衛
同　備後町四丁目　梅原亀七